

第 239 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2011 年 9 月 15 日(木) 17 時 30 分~19 時 30 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 黒田 晋吾 氏(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面矯正学分野准教授)

タイトル: ミニスクルー固定を用いた新しい矯正歯科治療

近年、顎骨に植立したスクルーやプレートなどのインプラントを、不動固定に用いた矯正治療が行われるようになりました。これにより、患者の協力性に左右されることなく、様々な歯の移動が可能となります。特に、直径が小さく長さの短い、チタンミニスクルーは、植立の場所を選ばない、植立及び撤去時の外科的侵襲が少ないなど、マルチブラケット装置の補助装置として適した特徴を有しています。また矯正医自身が、その治療方針に応じて、適切な部位に植立できるという利点もあります。

抜歯症例の空隙閉鎖時に、ミニスクルーを固定源に用いることで、予測性の高い、優れた治療結果が期待できます。また、従来の治療法では困難であった、大白歯の圧下や歯列全体の遠心移動も、その植立方法を工夫することより、ミニスクルーで行うことが可能です。ミニスクルー固定は、これまでの矯正治療の診断を大きく変える、画期的な治療法と考えられます。

そこで今回、ミニスクルーの植立法や具体的な使い方、偶発症から、実際の治験例、臨床研究の結果まで、臨床的な視点でお話させていただきたいと思えます。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 山田 一 尋